ボランティア通信

平成30年２月　No.165

編集・発行
阿賀野市社会福祉協議会
阿賀野市ボランティアセンター

〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋669
阿賀野市役所 京ヶ瀬支所内
TEL　0250-67-9203
FAX　0250-67-9204

ご案内　地域♡子育て応援セミナー

ママたちが赤ちゃんを抱っこしている様子を見て、「抱き癖がついちゃうよ…」と思ったことはありませんか??以前は、「抱き癖がつくから」と抱っこしたくても我慢するママたちが多かったのではないでしょうか。でも今は、「たくさん抱っこしましょう」と子育てについての考え方も変わってきています。また、最近は“子育て”がママやパパだけでの“孤育て”になりがちです。今と昔の子育てのちがいを知り、お互いを認め合うことで、“孤育て”ではない“みんなでの子育て”のきっかけとなると思います。

ママ・パパ世代、おばあちゃん・おじいちゃん世代、子育てを卒業した方、これから子育て予定の方など、たくさんのみなさんのご参加、お待ちしております。

★日　時★　平成３０年３月１０日(土)　10:00～12:00(受付 9:30～)
★会　場★　保健福祉センター 京和荘　「多目的ホール」
阿賀野市姥ヶ橋1104番地　　TEL:0250-67-3171
★内　容★　講演会　『今と昔の子育てのちがい』
講師:新潟県立大学　人間生活学部　子ども学科
准教授　　小　池　　由　佳　　氏
★申込み★　３月５日(月)までに下記へお申込みください。
★その他★　別室で保育ルーム(定員:５人)を設置いたします。利用される場合は、３月１日(木)までにお申込みください。その際、子ども１人　100円の協力金をお願いいたします。
★申込み・問合せ先★　社会福祉法人　阿賀野市社会福祉協議会
TEL:0250-67-9203　　FAX:0250-67-9204
MAIL:kyougase.syakyo@aq.wakwak.com

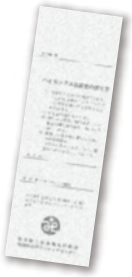
サロン活動助成金のおしらせ

阿賀野市社会福祉協議会では、皆さまからご協力いただいている「社協会費」と「赤い羽根共同募金」を財源に、地域で高齢者や子育て中の世代等を対象としたサロンを開設・運営しているボランティアグループへ活動助成金の交付をしております。助成金の交付を希望されるボランティアグループは、下記までご連絡ください。

サロン条件	活動内容	地域の高齢者や障がい者、子育て世代等を対象に気軽に集まれる場所(サロン)を開設し、誰もが楽しい時間を過ごせる内容であること。
	実施回数	概ね月１回、阿賀野市内の一定の場所で定期的に開設すること。
	参加人数	活動１回あたりの参加人数(利用者)が５人以上見込めること。
対象団体		阿賀野市ボランティアセンターに登録し、サロン運営に積極的に取組み、自主性・継続性のあるボランティアグループ・団体 ※趣味活動や会員のみを対象としているグループ・団体は対象外 ※本会以外からの助成を受けているグループ・団体は対象外
助成金交付額		１ヵ所 15,000円までの運営経費を助成 サロンの新規設立時に、１回 10,000円までの準備経費を助成 ※申請グループが多数の場合、予算の範囲内で助成金額の調整を行う。
助成対象経費		サロンの運営に必要な経費(例:講師謝礼、消耗品費、賃借料、保険料等)
申請方法		本会にある助成金交付申請書等の関係書類を作成し、平成30年4月27日(金)までに申し込む。

【助成金についての問合せ・連絡先】
阿賀野市社会福祉協議会　TEL：0250-67-9203　FAX：0250-67-9204
MAIL：kyougase.syakyo@aq.wakwak.com

ハイゼックスで 災害時でも炊きたてのご飯を…



現在、社会福祉協議会では希望するみなさんへ「ハイゼックス」をお渡ししています。自治会や学校、グループ等での防災訓練の際に、ハイゼックスを使って非常食を試食してみませんか。ハイゼックスの使い方については、下記をご参照ください。また、社協の職員がお伺いして説明することも可能です。お気軽にお問合わせください。

「ハイゼックス」とは…

- ◆名　前　包装食用ハイゼックス（ポリエチレン袋）
- ◆用　途　非常災害時における炊き出しに使用
- ◆特　徴　①輸送や携行における取扱いが極めて便利で衛生的　②食器不要で箸を使わずに食べることが可能
- ◆使い方　袋の中に米と水を入れ、それを沸騰したお湯で煮る
- ◆保　存　・白米のみの場合　約３日　・味付けした場合　約２日　・梅干又は酢を混入した場合　約１週間

≪非常食の作り方≫

１．袋に引いてある線にあわせて、洗米（約150g）→水（180cc）の順にいれる。

２．袋の中の空気を完全に抜く！（重要）袋のくちをしっかり絞って輪ゴムでとめる。

※空気が入っていると破裂しやすくなる。水泡も必ず無くす。
※水を少し多めに入れ、机のフチなど利用して水と空気を一緒に抜くようにするとうまくいきやすい。

３．鍋などの沸騰したお湯の中に入れ、約30分煮る。

※時間が経つと袋が膨張してくる。
※空気が残っている袋は浮いてくる。（中身が半煮えになりやすい。）
※お湯から出ている部分が鍋に直接触れると、破れる可能性があるので注意する。

４．３０分後、引き上げて完成。

※引き上げ直後の袋はとても熱いので、注意する。
※１０分程度蒸らした方がよい。
※多く作る場合、袋に油性マジックで名前を書くと誰の分かわかりやすい。

［問合せ先］　社会福祉法人　阿賀野市社会福祉協議会
〒959-2123　阿賀野市姥ヶ橋 669
TEL：0250-67-9203　FAX：0250-67-9204

どれみハウスカレンダー

どれみハウスは、地域で暮らす障がいのある方とそのご家族から、のんびり過ごしていただく場所です。

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	●
●	5	6	●	8	9	●
11	●	13	14	15	16	●
●	19	20	●	22	23	24
●	26	27	28			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	●
●	5	6	●	8	9	●
11	12	13	●	15	16	●
●	19	20	●	22	23	24
●	26	27	28	29	30	●

●休館日です。

善意のご寄附感謝いたします

（敬称略）

【寄 附 金】１２月１日～１２月３１日受付分
匿　　名……３０,０００円
匿　　名……１,０００円

【寄附物品】１２月１６日～１月１５日受付分
・古 切 手 他……グループホームシンパシー、菅井慶輔、瓢湖ひまわりの会、㈱葵建設工業、匿名（１件）
・リングプル他……京ヶ瀬幼稚園、レクダンス萌の会
・フェイスマスク他……タフナーズ 96（水原中学校昭和 47 年度卒業生）、坂詰典彦、星山幸子、伏見眞一
・着　　物……匿名（１件）

ボランティア通信は、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています